

第2章

「美の郷やまなしづくり」の考え方

1. 「美の郷やまなしづくり」の基本的な考え方

暮らしに根ざした景観、伝統行事、文化財などの地域の「かけがえのない資源や財産」は、山梨に住むことの誇りとふるさととしての愛着を感じさせるものであり、県民共有の財産として大切に守り、後世に継承していかなければなりません。

このため、地域の「かけがえのない資源や財産」を把握し、それらを地域の景観づくりに活用する取り組みが重要となります。

ここでは、県民の皆様と行政が協働して「美の郷やまなしづくり」を進めることができるように、「ガイドライン」における基本理念に沿って、次の3点を「美の郷やまなしづくり」の基本的な考え方とし、「かけがえのない資源や財産」の保全、再生・創造、育成・活用等を行うことの重要性について説明します。

■ かけがえのない美しい風土を守る

山並みのパノラマ、里山・森・清流、丘陵地の果樹園・棚田などのやすらぎを感じさせる風景や、宿場町など古い街並み・地域のお祭りなどの歴史を積み重ねた景観は地域の宝であり、ひとたび失うと再生が困難です。このような、懐かしい魅力のある「原風景」を保全することが重要です。

また、このような「原風景」を保全するためには、地域コミュニティの取り組みが不可欠です。

■ 快適で魅力のある風土を創る

景観に配慮した公共事業、荒廃した農地・森林の再生、身近な地域での緑化などを通じて、個性を生かした地域の魅力の向上を目指します。また、既存の街並みにおける修景事業等、街並みを整える取り組みも重要です。

さらに、持続可能で快適なまちづくりなど、社会の要請に応じた新たな風土づくりが必要となっています。

■ 暮らしを通して風土を育む

「美の郷やまなしづくり」は、単に表面的な景観づくりだけでなく、地域を育む交流や、農林業の担い手育成、特産品の生産・活用、中心市街地のにぎわいの創出など、地域活性化につなげる取り組みです。これらの取り組みを通じて、県民が豊かな生活を送ることができ、来訪者が訪れたいと思う地域づくりを目指すことが重要です。

■ 総合的まちづくり

2. 「美の郷やまなしづくり」の着眼点

	景観	環境	文化	風土産業
かけがえない美しい風土を守る	1.1 山梨らしい景観を守る ①山並みのパノラマ ②里山、果樹園景観 ③街並み・家並み ④神社仏閣や歴史的建造物、史跡など	2.1 身近な生活環境を守る ①美化・清掃活動 ②3Rの取り組み ③不法投棄防止 2.2 多様で豊かな自然環境を守る ①河川・水質 ②森林環境	3.1 地域の文化を守る ①地域の祭り ②伝統行事	4.1 農業を守る ・農産物生産・加工技術の継承 ・水路や石垣の管理・継承、観光利用 4.2 郷土の産業を守る ・地場産業、温泉など地域資源の継承
快適で魅力のある風土を創る	1.1 公共事業により景観を創る ①道路整備 ②電線類の地中化 1.2 景観に配慮した街並み・家並みを創る ①屋外広告物 ②建築物	2.1 身近な生活環境を創る ①河川整備 ②ユニバーサルデザイン ③植樹・緑化活動 ④エネルギー施設	3.1 新たな住環境を創る ・地域の合意形成による統一感のある街並み	4.1 農業の基盤を創る ・6次産業化など新たな取り組みによる農地の再生 4.2 地域の魅力を資源とした産業を創る ・地域の新たな産業の創出
暮らしを通して風土を育む	1.1 景観を活用した施設を育む ・風景を生かしたレストランなどの観光施設	2.1 地域のコミュニティを育む ・地域の活性化によるコミュニティの再生 ・移住者との新たなコミュニティの形成	3.1 未来を築く人材を育む ・子どもたちへの環境教育 3.2 地域に根ざした文化を育む ①ボランティアによる地域活動の担い手の拡充 ②地域文化を育む観光との連携 ③フットパスやエコツーリズムによる魅力発見	4.1 地域を支える人材を育む ①農林業後継者 ②建設業従事者 ③移住の促進 4.2 活力ある地域を育む ①地域食材の活用とブランド化 ②マルシェ等イベントの開催 ③森林資源の有効活用

■ かけがえのない美しい風土を守る

(1) 景観

1.1 山梨らしい景観を守る

富士山や八ヶ岳の山並みなどの素晴らしい自然景観や、歴史の重みを感じさせる神社仏閣や遺跡、街道に残る宿場の街並み、農村の集落など、歴史的・文化的資産は、本県が有するかけがえのない財産であり、これを保全する必要があります。

① 山並みのパノラマ

山並みに囲まれた景観や富士山の眺望などは、山梨を実感できる風景です。普段、何気なく見ているこのような風景は、山梨の地形、自然環境、人々の日々の暮らしにより育まれてきたものです。美しい景観が得られる場所は未だ埋もれており、これを発見し、くつろぎの場として整えるとともに、それぞれの場所からの山並みの眺望を保全するための規制や整備を行っていく必要があります。



笛吹市から、北（甲府北部火山地、八ヶ岳方面）への大観（山梨の大観より転載）
甲府市中心部の市街地、背後の片山や要害山などの山地、その奥に茅ヶ岳、さらに遠方に八ヶ岳を望む山梨の景観

② 里山、果樹園景観

扇状地に広がるブドウ畑や棚田などの景観は、眺めるだけで心が癒やされる風景です。懐かしさを感じ、ふるさとを思い出させる風景であり、先人たちの知恵が詰まった大切な財産です。里山・果樹・田園景観を守り、後世に継承すべき地域を明確にし、県民全体で守り育てるための取り組みが必要です。



甲州市内フルーツラインから、西（南アルプス方面）への大観（山梨の大観より転載）
左右に盆地を囲む山並み、眼下の斜面地にブドウ棚が広がり、その奥に巨摩山地、その背後にアルプスを望む果樹園の景観

③ 街並み・家並み

古い街並みや家並みは、伝統的な暮らしが育んできたものであり、そこにある生活の知恵を継承していく必要があります。

今も残る街並みや家並みは、地域ならではの個性と魅力を有し、保全・整備を行うことで地域の財産となります。街並み・家並みの要素は町家や農家や蔵などの建物だけでなく、外構・庭・道・路地・水路・ため池なども含まれ、これらを総合的に保全していく必要があります。



のどかな山里の雰囲気を感じる茅葺きの「切妻民家」が多く残る集落
(甲州市 上条集落) (写真：2.1)

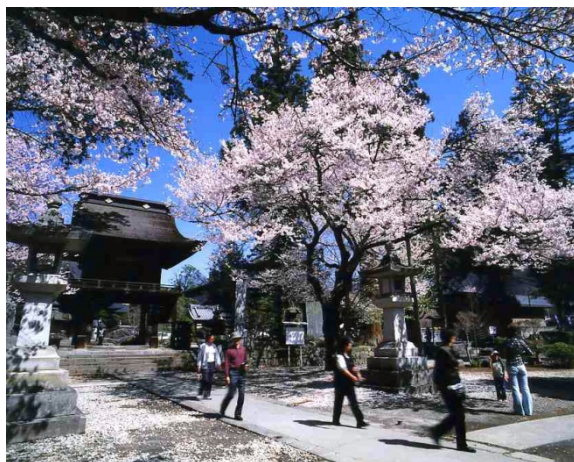


黒板塀と二階家の手すりが特徴的な、江戸時代の面影を残す講中宿
(早川町 赤沢宿) (写真：2.2)

④ 神社仏閣や歴史的建造物、史跡など

神社仏閣や歴史的建造物、史跡などは、私たちが祖先から受け継いだ、大切な財産です。これらの歴史的資源を継続して保存するとともに、歴史検証に基づいた破壊要素の復元に努め、さらに歴史的資源を取り囲む周辺地域の景観を整えていく必要があります。

また、道祖神や路傍の祠など、一見些細に見える史跡や地域住民にも認知されていない歴史的資源も数多く存在するため、それらの発見・再生が望まれます。



甲斐武田氏の菩提寺
国指定名勝の庭園は、池泉回遊式庭園で夢窓国師の代表作
(甲州市 恵林寺) (写真：2.3)



日蓮宗総本山として知られ、年間を通して多くの参拝客や観光客が訪れる。
門内の商店街では、外観などの修景を実施
(身延町 身延山久遠寺)

(2) 環境

2.1 身近な生活環境を守る

① 美化・清掃活動

清掃活動や美化活動は美しい景観づくりの基本的活動と言えます。これを行うことで、道路など生活に欠かせない施設を守り、美しく衛生的な生活環境を守ることができます。また、来訪者は美しい景観を守る地域の人々の活動に感動し、そのような人々が暮らす地域に魅力を感じます。

② リデュース、リユース、リサイクル（3R）の取り組み

廃棄物等の発生抑制、再使用、原材料としての利用などを進め、廃棄物を減量し、資源を有効利用する循環型社会を形成していく必要があります。

このため、分別回収などとともに、ごみの減量化につながるマイバッグの利用や過剰包装の回避などの環境に与える負担を少なくする取り組みが必要です。

③ 不法投棄防止

廃棄物の不法投棄は、生活環境や景観の支障となります。不法投棄を「しない」・「させない」意識啓発と環境づくり（廃棄しにくい美しい環境を保つ取り組み）が望まれます。



生徒による富士登山道のゴミ拾い
(吉田高等学校) (写真：2.4)



河川の草刈り活動
(甲府市 荒川) (写真：2.5)

2.2 多様で豊かな自然環境を守る

① 河川・水質

河川は、治水や灌漑施設などの地域の人々の暮らしに根ざした営みからなる、歴史的な遺産が多く残っている地域の財産です。これを守り・育むためには、ゴミを捨てにくい周辺の環境づくりや美化活動などの、河川とその周辺を守る地域づくりが大切です。

生物の生育環境や生活用水の水源を確保するためにも、河川の水質・水量を保全することが大切です。



大正時代に完成した近代土木遺産
流れ落ちる滝は祇園の滝として親しまれている。
(甲州市 勝沼堰堤)



川は憩いの場であり、子供たち遊びの場にもなっている。
(道志村 道志川の的様(まどさま:写真中央部の渦巻き状の模様のこと。かつて源頼朝が弓矢の的として武道訓練をしたという伝説が残され、村民に親しまれている。))

(写真:2.6)

② 森林環境

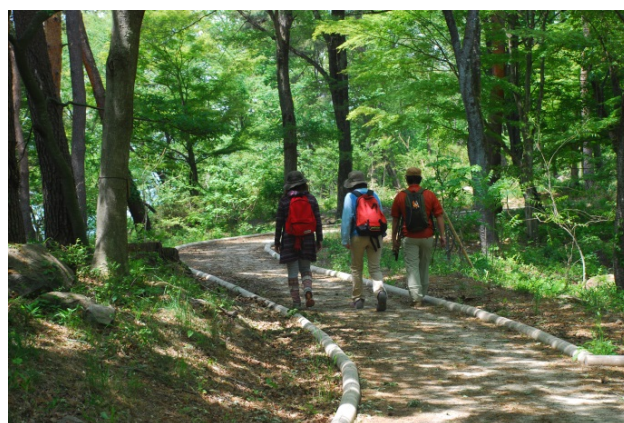
森林は、水源のかん養、国土の保全、快適な環境の形成、保健・レクリエーション、文化の維持及び継承、生物多様性の保全、地球温暖化の防止、そして木材生産等、多面にわたる機能を発揮することで、県民の豊かな暮らしを支えています。このため、森林環境を守りながら、森林資源を持続的に利用していくことが必要です。



整備された針葉樹の人工林

(南部町 石合の森)

(写真:2.7)



森林内の遊歩道

(甲府市 武田の杜)

(写真:2.8)

(3) 文化

3.1 地域の文化を守る

都市化による生活様式の変化にともない、生活のゆとりが失われるとともに、地域の歴史、文化を物語る風景がなくなり、地域に伝承されてきた祭りや慣習なども私たちの生活から失われつつあります。

地域の祭りや伝統行事は、高齢者から子どもまでの幅広い世代が参加し、交流することができるものであり、参加する者に歴史文化の継承の重要性を再認識させ、地域資源を生かす景観づくり、コミュニティの継承・再生、地域の活性化につながります。地域の祭りや伝統行事の保全は、美しい風土を保つうえでの重要な取り組みの一つです。

① 地域の祭り

地域の祭りは、生活に根ざした風習から生まれ、長い歴史の中で現在まで受け継がれている貴重な財産です。



安産祈願・子孫繁栄を願い、練り歩く風習
(甲州市 熊野神社やっこらさん)
(写真：2.9)



元老・中老・若者衆・子若衆が祭神を祀り、
祭礼を伝承 (山梨市 徳和の天神祭)
(写真：2.10)

② 伝統行事

伝統行事の継承は、地域の文化を知り・学び、身につけることにつながり、改めて地域への愛情やこの地に生まれた誇りを感じ、人と人との親密なつながりを形成し、私たちの生活をより豊かにすることができます。



小正月に行うどんど焼き
(甲州市)
(写真：2.11)



県下唯一の神代神楽
地域の人々の心をつなぐ伝統文化
(小菅村 小永田の神代神楽) (写真：2.12)

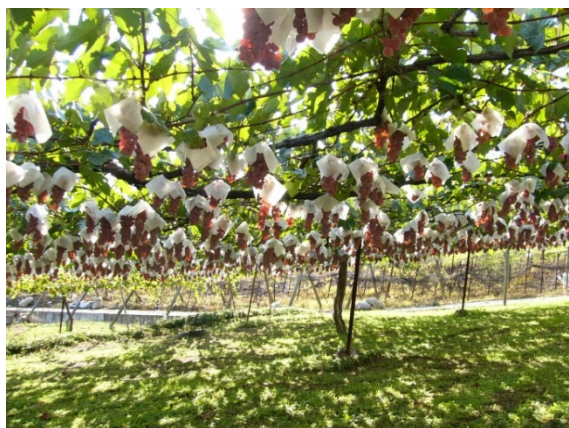
(4) 風土産業

4.1 農業を守る

農業の営みは、本県の農村地帯に多彩な景観を織りなしています。

「傾斜地に広がるブドウ棚」、「ピンクの花が一面に咲き誇るモモ畑」、「山並みを背景に稲穂が実る棚田」等の景観は、県民だけでなく来訪者の心を潤す貴重な財産となっています。

産業資源としての農地とそれを支える技術を守り継承していくためには、高品質な農産物の生産や加工技術を守り継承し発展させること、水路や石垣などの管理補修の伝統技術を守り継承すること、美しい景観や環境を生かしたブランド化と観光農業、農業体験、都市農村交流などによる集客やインターネットなどの媒体を活用した観光利用の手法を洗練させることなどがが必要です。



傾斜地を生かしたブドウ栽培
(山梨市 ブドウ園) (写真：2.13)

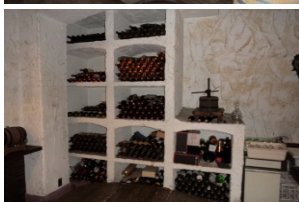
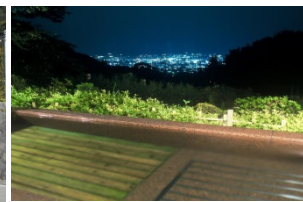


地形に合わせた棚田の稲作
(甲斐市 棚田) (写真：2.14)

4.2 郷土の産業を守る

山梨は古くから、地域固有の資源を活用した地場産業が発達してきました。

ジュエリー、ワイン、織物、印伝など山梨が誇る地場産業は、多くの人たちに愛されています。また、温泉など古くから親しまれてきた観光資源も多く見られます。このような地域資源は、山梨を特徴づけるものであり、後世に受け継がなくてはならない大切な財産です。



勝沼の古いワインの蔵元
醸造工程の見学コースもあり、ワイン造りの魅力を発信
(甲州市 丸藤葡萄酒工業)

眼下に広がる南アルプスと甲府盆地の夜景が楽しめるビューポイント
山梨には信玄の隠し湯と呼ばれる温泉が数多くある。
(甲府市 積翠寺温泉) (写真：2.15)